

チェルノブイリ通信

2013年6月20日

No.92

■発行 NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク
〒811-3102 福岡県古賀市駅東2-6-26/バステル館203号
TEL/FAX 092-944-3841 Email jimmu@cher9.to
ホームページ <http://www.cher9.to/>
■募金口座 郵便振替口座 01770-1-65328
楽天銀行 ジャズ支店(支店番号201)(普)7017104



チェルノブイリ医療支援ネットワークは、チェルノブイリ原発事故で被災した人々のために、
現地から求められる医療支援を行います。
この活動を通して、日本とベラルーシの人々の心と心のつながりを深めます。



色鮮やかな花束を手にしたリューダの愛娘、アンナちゃん

特集:ブレスト第12回検診帰国報告(3)

10年の検診を振り返り
点から線へ、線から面への支援の広がりに向けて

今だからこそ、もう一度読みたい
『新訂 子どもたちのチェルノブイリ』

今さら聞けないチェルノブイリQ&A

被災した子どもたちの健康向上をめざして

イーゴル医師の来日研修レポート

事務局日誌より主な活動報告

コーヒーキャンペーンのご案内

会員さん紹介コーナー

募金者のお名前とメッセージ



● 特 集 ● プレスト第12回検診帰国報告(3)

10年の検診を振り返り

点から線へ、線から面への支援の広がりに向けて

日本医科大学付属病院 病理部 渡會 泰彦

2012年秋のプレスト第12回検診に、臨床検査技師として参加された渡會先生からのレポートです。過去10年の甲状腺がん検診プロジェクトのなかで見えてきた課題、その解決に向けての今後の展開についてまとめてくださっています。これまでの検診成果がわかるデータも4ページに記載されていますのでぜひご覧ください。

はじめに

わたしは昨年プレスト第12回検診へ参加しました。最初の参加が2003年のプレスト第3回検診でしたので、私たち日本医科大学細胞診チームとして10年の節目となりました。

最初の検診ではベラルーシ国内での検診の様子が全くわからない中、ひたすら住民の甲状腺の穿刺^{せんし}吸引細胞診を行い、短い滞在期間の中で何とかたくさんの住民の結果を残すのが精一杯の状況でした。

問題点の発見

3回目の検診の頃によく問題点がみえてきました。まず甲状腺の超音波画像を見ながら、がんの可能性のある部位に注射と同じ位の細かい針を刺し、細胞を採取する穿刺吸引を行います。この最初の段階での技術は比較的早く現地の医師が習得できていることがわかりました。



アルツール先生、アリーナ先生へ細胞診アトラスの説明を行う

次の段階である染色作業についても、日本から試薬を持ち込み手順を教えることにより、習得することができました。但し、甲状腺がんで最も種類の多い乳頭がんの診断に欠かせないパパニコウ染色用の試薬は高価なため継続して現地で購入することができず、やむなく安価なギムザ染色により日常の診断がされているのが現状となっております。

最後に採取された甲状腺の細胞を顕微鏡で観察し診断をし、

患者さんの治療方針を決めるのが穿刺吸引細胞診の目的ですが、その習得に次のような①②の大きな壁があることがわかりました。

①パパニコウ染色の普及が不可能…経済的に現地で日常的に行える染色はギムザ染色ですが、日本の細胞診専門家のほとんどはパパニコウ染色を中心に診断を行っており、教科書のほとんどがパパニコウ染色の写真が中心に掲載されています。さらに日本の細胞診専門家がギムザ染色のみでの診断に不慣れであることが問題となります。

②診断技術の伝達が困難…現地での検診滞在日数は2、3日ですので、実際に各症例につき現地の細胞診診断医とディスカッションをしながら教えていくということができません。

また、日本では細胞の写真が掲載されているアトラス・教科書を見ながら診断したり、最終的な病理診断がついた細胞診標本を振り返り観察することにより細胞を見る目を養いますが、的確な診断ができるまではたっ

んの症例を観察し勉強することが不可欠となります。しかし、検診の短い時間では不可能です。

問題点の解決へむけて

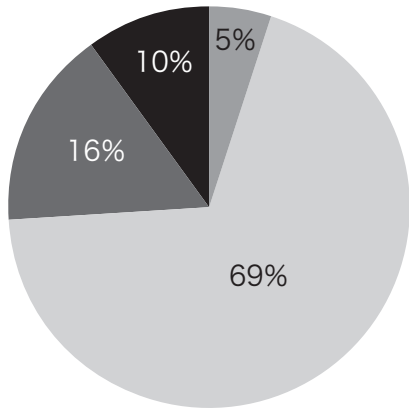
このような壁を超える方法はないかと考えた末に思いついたのが、現地の細胞診診断のベースになっているギムザ染色中心のアトラスをロシア語訳できないか？というものでした。幸いなことに武藤化学薬品社の発行したギムザ染色を中心とした「ギムザ染色を主体とした甲状腺の細胞診」をロシア語訳する許可を著者の先生も含めただけしたことにより、前回の通信にもあったように12回検診の際にロシア語訳本を手渡すことができました。

これは、医学分野でさらに細胞診という特殊な分野の本をロシア語訳するという、困難で誰も成し得なかった作業を労力惜しまずつぎ込んでいただいた、チエルノブイリ医療支援ネットワークスタッフの努力の結晶だと

言えると思います。これで全て解決するわけではありませんが、壁を乗り越える為の大きな一歩を踏み出したと考えられます。

なぜならば、このアトラスと比較しながら現地細胞診専門家が実際に患者さんの細胞の診断を下すことができるようになるからです。

今後プレスト州のみならず、ベラルーシ、さらに教科書を必要としているロシア語圏まで、このロシア語訳本が広がればよいと考えます。細胞診の最終段階である診断技術のさらなる伝達方法を中心に考え、今後も支援運動に関わらせていただきたいと思います。



■ 検体不適正
■ 正常/良性
■ 鑑別困難
■ 悪性/悪性疑い

10年の検診結果

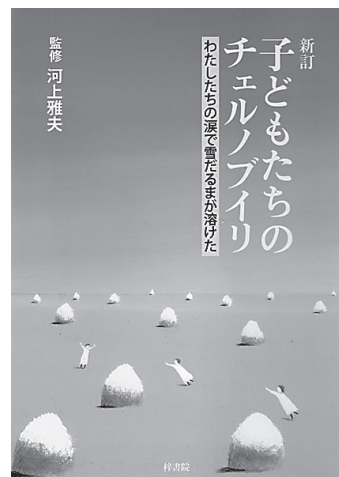
最後に10年の検診の結果を示します。10年で416名の検診を行い、その10%の42名にがんが見つかり、16%の66名は鑑別困難でがんの可能性のあることを指摘することができました。

この診断結果は毎回現地医師に説明後帰国しますので、その結果によりその後の適切な治療方針を導くことができており、我々の検診がチェルノブイリ原発事故に苦しむ人々の助けになり、また現地医師による検診も早期に実現したことによりさらに多くの住民の検診を行うことにつながったと考えます。

判定区分	2003~2012年
検体不適正	22名
正常/良性	286名
鑑別困難	66名
悪性/悪性疑い	42名
計	416名

「ほうしゃのう」のないところで暮らしたい！
子どもたちは傷つきながらそれでも希望を抱きしめている。
(映像作家 鎌仲ひとみさん/帯より)

『新訂 子どもたちのチェルノブイリ』



新訂 子どもたちのチェルノブイリ
わたしたちの涙で雪だるまが溶けた

A5版 224ページ
定価 本体1,333円+税
発行 (株) 粹書院
監修 河上 雅夫
訳者 菊川 憲司
装画 葉 祥明

チェルノブイリ原発事故で被災した子どもたちの作文集『わたしたちの涙で雪だるまが溶けた』を再編集し、最新の検診データも掲載した新訂版が粹書院より出版されました。

18年前にチェルノブイリ支援運動・九州が出版したこの作文集は大変好評で、ラジオやテレビで紹介され、多くの方に愛読されてきました。特に、2年前の福島原発事故以後、イベント会場などでよく売れたために在庫が無くなりました。

そこで、3.11被災直後に福島から避難された宇野朗子^{さよこ}さんに手記を書いていただき、日本医科大学の清水一雄先生の甲状腺がん検診を説明した記事を加えて、タイトルを『子どもたちのチェルノブイリ』と改めて、全国の書店より一斉に発売となりました。もちろんチェルノブイリ医療支援ネットワーク(CMN)でも取り扱っています。

放射線被曝について考える一助として読んでいただけるとありがたいです。

CMN理事長 河上雅夫

CMNからご注文の場合、売り上げの一部が活動費にあてられます。
支援コーヒーや福祉工房「のぞみ21」商品と合わせてのご購入も可能です。
送料など詳細についてウェブサイトをご覧ください。事務局までお気軽にお問合せください(tel/fax: 092-944-3841)。

<http://www.cher9.to/hon.html#soryo>

いまだ人にはきけない?! 「意外と知らない」 チェルノブイリ

「いつか、どんな支援活動をしたの?」(後)

チニギチ
マガミ



河上さん

今みたいなの
医療支援はいつ
からはじめたの?

1997年からだよ

ベラルーシで甲状腺
がんの早期診断 治療の
システムを確立しましたよ!

甲状腺のお医者さん



ポイントでは検診車
を導入したこと

『雪だるまのまじ』
のことね

日本と首都ミンスク
の医療専門家が

ともに地方の
診療所へ行って
検診をするんだ



現金収入が少ない
のでミンスクの病院へ
行くのは大変なの

近くにお医者さん
が来てくれると
たすかるよ

事故の健康への影響は
今も気になるから



それに、
共同作業の中で
医療技術を伝え



いずれはベラルーシ
の人たちだけで検診
を行うことができる
ようになることが
大きな目標だよ



拠点に選ばれた
のはワレスタ州



甲状腺がんが
増えているのに
支援の手が届い
ていなかった
場所なのよね

すごいねー海外でそんな
ことまでやっちゃうなんて
でもじいじは第一回目の
検診は大混乱だったんだ...



事前に会場のおよすも
わからなかったし



2005年
には雪だるまのまじ
を贈呈



うわあ〜そついうのを
『継続は力なり』って
いうんだらうねえ



移動検診をして
再検査の
必要のある
患者さんだけ
をわたしたちの訪問に
あわせて集めてくれる
ようになったの



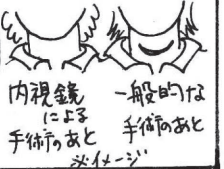
やがて、何年も続けて
参加して技術を
習得した
現地の
お医者さんが
事前に
移動検診をして
再検査の
必要のある
患者さんだけ
をわたしたちの訪問に
あわせて集めてくれる
ようになったの



それが4ヶ月後の
第2回検診には
ずいぶんスムーズ
になって...



2009年
には傷口の目立たない
内視鏡による甲状腺手術を
ベラルーシで初めて
実施したんだ

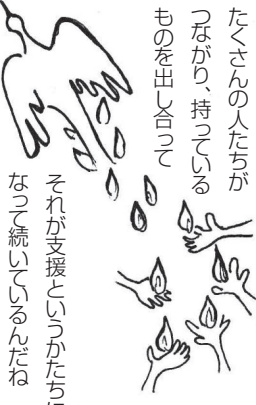


この技術が
現場で広まれば
笑顔が広がるよね

これからも現場で必要とされる
医療支援をつづけていこう!



どれもこれも最初からうまくは
いかなかったよ
でも、事故の影響をかかえる
人たちの力になりたいという
想いで



それが支援というかたちに
なっていてくれるんだね

「ウチャヤ」
ベラルーシに帰るんだね

また来るよ
アツい想いで

「ウチャヤ」は国境を
時間も越えるんだよ

おかり



● チェルノブイリ原発事故の被災地ベラルーシから ●

被災した子どもたちの健康向上をめざして

―非汚染地域での保養プログラムがもたらす効果―



ベラルーシを拠点に、チェルノブイリ原発事故で被災した母子への支援活動に取り組むNGO「コンフィデンス」による保養プログラムについてご紹介します。代表のイリーナさんからのレポートです。

異文化交流から 継続的な保養支援を

コンフィデンスに限らず、こちらで展開されている保養プログラムには3つのタイプがあります。①外国でのホームステイ、②宿泊施設（ペンション、子どもキャンプ、ユースホステル、教会のゲストハウス、巡礼者用キャンプ、赤十字のゲストハウス）での滞在、③この2つの複合型滞在プログラムです（※詳しくは7ページの表をご参照ください）。

私たちのグループの場合、①のホームステイはドイツ、ベルギー、

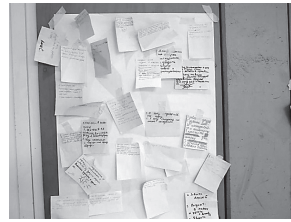
オランダで行われています。初回のホームステイでは、往復の交通費と医療保険費を受入慈善団体が負担します。移動手段は保養のタイプに関わらず、最も安価なバスを利用しています。期間は2週間から2ヶ月で、40〜65名程度の子どもたちが参加します。

ホームステイを受け入れるホストファミリーは、最初は同僚から子どもを招待してくれますが、その子と親しくなり、愛情を感じるようになります。（全ての場合ではありませんが）その子の保養のために再度の訪問費用を自ら払ってくれます。このようにし



НЕЗАЛЕЖНАЯ
ГУМАНИТАРНАЯ
АСАЦЫЯЦЫЯ





カメラに目を向ける子どもたちの表情はどれも明るく、生き生きとしている。こうした保養プログラムが彼らにとってプラスに働いてことがうかがえる。

て、ベラルーシとさまざまな国との家族間の異文化交流が改善します。
一方、子どもは健全な食生活、きれいな空気などによって健康の

回復が期待されるとともに、ホームステイを通じて外国の家族から、長期的な社会的援助を得ることができるとです。

高い効果が期待される 集団での宿泊生活

②のタイプでは、2〜4週間の日程でスイスを訪問し、約40人の子どもが教育プロジェクトと保養、観光などを行います。費用は全て保養を受け入れる慈善団体が負担し、その資金を調達するために、チャリティーバザー、展示会やオークションを開催しています。

このタイプは3つの保養プログラムのなかで最も費用がかかりません。けれども子どもたちの健康回復のためには最も効果的です。またホストファミリーからのプレゼントによる争いがなく、教育プログラムや成長のための遊びを通して、滞在先での言葉の壁を超えた子ども同士の公平な交流を促進します。

コンフィデンスによる保養プログラムの詳細

	①ホームステイ	②宿泊施設での滞在	③複合型滞在
国	ドイツ、ベルギー、オランダ	スイス	ドイツ、オーストリア
期間	2週間〜2ヶ月	2〜4週間	ホームステイ：1〜2週間 宿泊施設：1〜2週
人数	バスの定員(45人)やホストファミリーの数、宿泊施設の収容可能人数、資金状況による		
具体的な活動	放射性核種が含まれていない栄養に配慮した食品および肯定的な感情による健康回復	放射性核種が含まれていない栄養に配慮した食品および肯定的な感情による健康回復。医療的診断と助言	
費用	ホストファミリーが食費、各自で企画したプログラム費用、及び2回目以降の往復交通費、医療保険費を負担(初回は受入慈善団体が往復交通費、医療保険費を負担)	受入慈善団体が往復交通費、医療保険費、食費、観光、教育プログラム費用など全て負担	ホームステイに係る費用はホストファミリー負担。宿泊施設滞在に係る費用は受入慈善団体が負担
期待される効果	健全な食事、きれいな空気、肯定的な感情によって放射性核種の体内からの排出と健康回復。他の国への旅行の教育的価値。外国とベラルーシの家族間の異文化交流。社会的支援としてのホストファミリーからの人道援助。	健全な食事、きれいな空気、肯定的な感情によって放射性核種の体内からの排除と全体的健康回復。他の国への旅行の教育的価値。言葉の壁を超えた子ども同士の公平な交流。	

教育カリキュラムを 保養プログラムへ融合

2012年9月から11月、ブレ
スト州イワノフ地域のリヤホビツ
チ村とドストエバ村から34人の子
どもたちのグループがオランダの
アルスメール市に保養に行きまし
た。そのグループは最も貧しい家
庭の子どもたちから選ばれました
た。また、2人の教員も彼らと同
行し、オランダで週に5日の授業
を行いました。

子どもたちはホームステイを
し、現地の学校で学ぶのです。
2ヶ月間、子どもたちはとても質
の高い保養をし、学校でのプロゲ
ラムを習得し、楽しい観光や、世



他国の子どもたちとふれ合い、異文化交流を図る

界的に有名なチューリップのオー
クシオンを見たり、オランダ駐在
ベラルーシ大使と会ったり、オラ
ンダの家族の愛とケアによって明
るくなりました。幸せな気持ち
で家に戻り、以前より健康になり
ました。

汚染されていない環境で 体内を浄化させる

ベラルーシの子どもたちには現
在、外部被曝の脅威はありませ
ん。子どもたちをヨーロッパの汚
染されていない地域に連れて行く
ことは、体内の放射性核種(主に
セシウム、ストロンチウム)をきれ
いな食物によって排出するために
必要なのです。ベラルーシ国内で
そのような食物を保証すること
は現実的には不可能です。研究
者のデータによれば子どもたちの
体内から放射性物質を完全に排
出するには70日かかると言われて
います。

放射線被曝した日本の子ども
たちのためにも、清浄地域での保
養や、汚染されていない食品での
食事は意味があると、私は思いま
す。私たちの活動について、なに

か追加の質問がありましたら
どんなことでも喜んでお答えし
ます。

親愛なる日本の皆さんへ 友情と支援に感謝します

私たちの団体は長年にわた
り、皆さんの経済的、友好的
なご支援のおかげで、チェルノ
ブイリ原発事故の被害を受
けたり、社会的保護を必要
とするベラルーシの子どもた
ちのために活動することがで
きました。わが国には、公共
団体に必要とされる公的条
件や政治状況による事情が
あり、私たちはベラルーシ国
内の支援者からの援助を受
けることができず。皆さん
のご理解やご支援がなけれ
ば、私たちは多くの人道的プ
ロジェクトを実現することは
できませんでした。長年に渡
る真の友情と支援に本当に深
く感謝しています。

独立人道支援団体

「コンフィデンス」代表

イリーナ・アリノビッチ

和訳は本文最後の段落をご参照ください

Уважаемые друзья!

Уже многие годы наша организация имеет возможность действовать ради детей, пострадавших от чернобыльской аварии и социальных детей Беларуси благодаря вашей финансовой и дружеской поддержке. В силу сложившихся в нашей стране официальных требований к общественным организациям и политических условий мы не имеем возможности получать спонсорскую помощь внутри страны от белорусских меценатов. Поэтому, мы глубоко и бесконечно благодарны вашей организации за верную дружбу и помощь все эти годы. Без вашего понимания этой ситуации и поддержки мы не смогли бы реализовать наши многочисленные гуманитарные проекты.

Ирина Аринович
Председатель правления
"Независимой гуманитарной ассоциации "Доверие"



ベラルーシで甲状腺内視鏡手術に取り組み

イーゴル医師の来日研修レポート

2013年2月5日～28日までの期間、HICARE(放射線被曝者医療国際協力推進協議会)の招聘で、プレスト州立病院(内視鏡外科)のイーゴル・ラディエフスキー医師が来日、広島市内の医療機関等で研修を受けられました。

(写真提供/山田英雄氏)

周囲が目を見張った イーゴル医師の技術の高さ

イーゴル医師は研修中、広島大学や関係機関等を訪問し、シンポジウム、カンファレンスなどに参加されました。また広島大学での研修においては、様々な手術用のシミュレーター装置を有するトレーニングセンターでの実習も行われました。上の写真(左)は、内視鏡下手術用の医療用ロボット「ダ・ヴィンチ」のシミュレーター装置である「Mimic」を操作するイーゴル医師。ロシアにはこうしたシミュレーター装置が十数台あり、「モスクワでの研修のときにドイツ製の装置を使って実習をしました。術中の各組織の感触もわかりますよ」とのことでした。

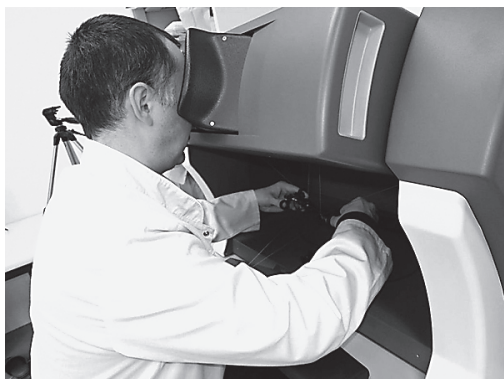
トレーニングセンターの指導医によれば、イーゴル医師の内

視鏡手術の技術は日本の認定医(日本内視鏡外科学会の技術認定取得者)並みとのことだ。「このトレーニングセンターに実習に来て、すぐにこの装置を使いこなされたのは、彼が初めて」と驚いていらっしゃいました。ちなみに認定医になるに、右写真①の装置を操作している場面のDVDを認定委員会に提出しなければならぬそうです。

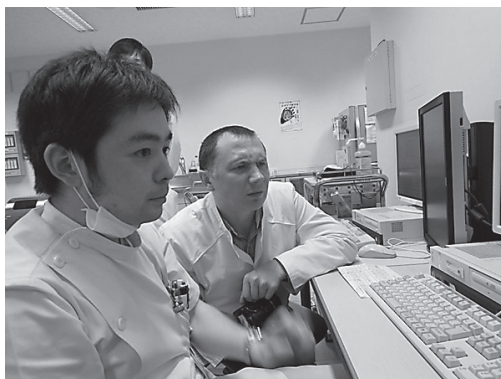
プレスト市でも独自のアイデアで 甲状腺内視鏡手術を実施

2009年秋、ベラルーシで初となった甲状腺内視鏡手術がプレスト州立病院で行われました(執刀医は日本医科大学の清水教授)。過去の会報でもご紹介してきましたが、その後イーゴル医師らは、独自に手術の装置を開発し、これまでに10例以上の甲状腺内視鏡手術を実施されています。写真②は、プレスト市にて独自に開発した器具をカメラに向けるイーゴル医師。少しづつ支援が形となって広がっています。

無事に研修を終え、ベラルーシへ帰国されたイーゴル医師とは、今秋のベラルーシ訪問時に再会できる予定です。その際には今回の研修に対する感想や、日本の医療や文化に対する印象などを聞きたいと思えます。



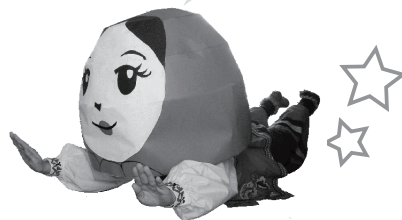
トレーニングセンターにて内視鏡手術の支援ロボット「ダ・ヴィンチ」のシミュレーター装置を操作するイーゴル医師



広島大学・第二外科(消化器)での研修
直腸癌手術予定の患者さんの説明を受ける



事務局日誌より 主な活動報告



日々の活動の様子は、HPの「事務局スタッフブログ」でも紹介しています。

<http://www.cher9.to/>

◆5月3日 第3回北九州9条まつり



実行委員長による開会の挨拶

昨年につづき、ブースを出展させていただきました。約2時間でしたが、のぞみ21商品、支援コーヒーともになかなかの売れ行きでした。今回はスタッフ二人で参加し、他のブースをゆっくり見たり、クイズに挑戦したり、お話をしたりなど、イベントを満喫できました。

◆5月25日 FUNN総会に参加



審議中です

CMNも正会員団体として加盟しているNGO福岡ネットワーク(FUNN)の通常総会が福岡市内で開催され、前年度事業報告や、今年度の事業計画、予算などに関する審議、承認が行われました。これからも力を合わせ、福岡の国際協力を盛り上げていきたいです！

☆ コーヒー・紅茶キャンペーンのご案内 ☆

～安全でおいしいコーヒー・紅茶を飲むことで、チェルノブイリ被災者を支えることができます～

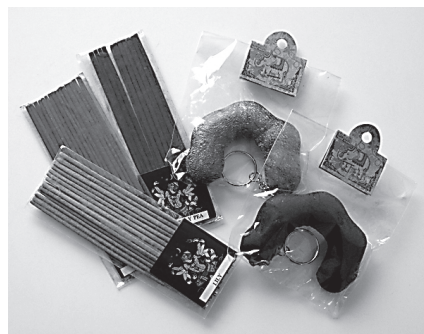
おいしいコーヒー、紅茶を飲んで、気軽にチェルノブイリ支援に参加しませんか？

期間中、商品(コーヒー・紅茶、のぞみ21雑貨、書籍)を合計5千円以上ご注文いただいた先着20名の方にタイの手工芸品をプレゼントします！

期間 2013年6月15日(土)～7月15日(月祝)まで

ご注文はTEL/FAX、メール等でお気軽に事務局まで。
お買上げ総額5000円以上で送料無料となります。

※お香またはキーホルダーの予定です。内容やデザインはお任せください。



(協力:くるんて～ぶの会)

NHK ETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」などで有名な

ご予約
受付中。

木村真三先生講演会 やります！

3.11直後から原発周辺地域での放射線量測定に取り組む、独協医科大学の木村真三先生をお招きし、講演会を開催します。

基調講演のほか、チェルノブイリ支援に携わる医療通訳の山田英雄さんとの対談、写真家の亀山ののこさん作「100人の母たち」スライドショーなども予定しています。お申込、お問い合わせは事務局までお気軽にどうぞ。(TEL/FAX:092-944-3841)

日 時: 2013年7月14日(日)14時～16時半 (開場13時半)

会 場: 九大医学部百年講堂 中ホール3 (福岡市東区馬出3-1-1)
地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」駅より徒歩8分

参加費: 予約:500円 当日:1000円

定 員: 100名(予約優先、先着順)



私も応援しています！
会員さん
紹介コーナー
Vol.18

このコーナーでは、チエルノブイリをともにお支えいただいている会員の皆さまより、活動への思いや現地へのメッセージをお聞かせいただきます。

取材／三島

本日の会員さん

川辺 希和子さん

<福岡県北九州市>

全ての人の命、くらし、 権利が守られる世界を願って

11年ほど前、夫と3人の娘と茨城県つくば市から北九州市に引っ越してきました。私にとって、ある意味真剣に生きることに促されていったきっかけは、2003年のイラク戦争の始まりです。テレビのニュースで米軍によるイラクへの空爆を見、この瞬間に罪のない人たちが家を壊され傷ついていること、これを止められなかったことを思い、なんとかしなきゃならない、誰かとつながりたい…と思いました。

その後、NGO「非暴力平和隊・日本」や「キリスト者・九条の会」北九州の会員となり、つながった人たちと現地に行ったり、いろいろな方を講師に招いたりしながらたくさん学ん

で、小さな事ですすが自分たちのしなればならないことを、自分たちのできる方法で行ってきました。

チエルノブイリ医療支援ネットワーク(CMN)のことはグリーンコープ生の協の支援募金チラシを見て知りました。チエルノブイリ原発事故によって今なお多くの人や子どもたちが苦しんでいることを発信し支援している団体が、こんなに近くにあることを知り、とてもうれしかったです。

CMNの活動は医療だけでなく、講師派遣、現地訪問、グッズ販売など色々な方法で支援しながら暖かい関係をつくっておられると感じています。以前には私たちの学習会に理事の小山さんをお招きして、本当に



素晴らしい出会いと学びの時をありがとうございました。毎年の5月3日の北九州9条まつりには、事務局の三島さん達がグッズを持って参加してくださっています。学生の時から関わっておられる若い方たちが、気負うのではなく自然体でしっかりとやっておられることが、新鮮でとてもうれしく思いました。

チエルノブイリの事故が起こった時は家族で川崎市に住んでいて、長女はまだ1歳前でした。事故後、川崎では雨が降り、抱っこした長女が雨に濡れないよう注意しながら買い物に行ったのを覚えています。また3・11のときは、三女が茨城県の大学在学中で、3日間ライフラインの止まっている状態でなんとか大学の友人と

過ごした後、北九州に帰省してきました。原発事故による被曝が心配で、三女には大学をやめることを勧めました。しかし本人の選択で現在も在学中、茨城に住んでいます。原発の危険性を訴えている人たちの声を知りながら、人任せにしてきたことを思い返しました。イラク戦争や3・11以降、私の意識は傍観者から当事者(被害者と同時に加害者)に少しは近づいてきたと思います。

原発、改憲、沖縄、基地、日本軍「慰安婦」問題など、多くの問題は根っこでつながっていると思います。今日の日本の舵取りが世界に与える責任は大きいのではないのでしょうか。最近、友人の発案で傘を使った小さなアクションを始めました。メッセージを大きく書いたカラフルな傘をさして、5〜6人で駅前や歩道橋などで佇むだけです。背を向けて立っている為か、近寄ってじっくり読んでいく人や、声をかけてくれる人、「かっこいいじゃん」と言う若者もいます。この方法、皆さんいかがですか？

究極の目的である「全ての人の命とくらしと権利とが守られる世界」へ近づくことを願って、いろいろな活動をされている皆さんと、どこかでつながりたいと思っています。(談)

たくさんのご支援を ありがとうございます。

(順不同・敬称略)

- 青木雅子 赤木惇子 浅井由美子 浅原望樹 飯岡知子 伊藤レイ子 今井亜紀子 今岡三三子 岩崎美由紀 岩田寿老 若本洋子 内村直子 宇都宮裕子 江藤和子 衛藤幸子 榎本みつ枝 大池葉子 大城りか 大澤宣子 大塚厚 緒方靖子 小田信子 勝連夕子 金只律子 金山涼子 榊モノダスサン コー 川崎巳代治 幸子 木原美子 久保カヨ子 栗山幸子 黒川和子 桑村綾美 越田美幸 小山博子 斉野要子 坂田幸子 佐々木郁江 定村洋子 サトウ橋正樹 クリニック 里見照子 澤田千鶴 進藤輝幸 菅原滋子 杉里香 杉谷晶子 駿河みどり 関根敏子 高田恵子 高橋武三 高森清子 高山幸子 竹内美佐子 伊達美奈子 田中直子 鶴田光子 遠山祥子 中川秀一 中島伸子 永瀬伸子 中野政恵 永山信子 成迫秀美 西谷純子 野田松美 野原初五郎 樋口奈保子 浜岡和子 林裕之 原田保子 東真喜子 樋口知恵美 平井雅子 平島優子 深堀三子子 福山知恵子 藤本幸子 本田美穂子 前田祐子 増田朋子 丸尾英子 丸尾匡宏 丸山さより 水浦美美子 宮下彩 宮園久仁子 宮田京子 宮本美智子 村上和代 めぐみ保育園 本岡真利子 森悠子 森澤恵子 守山美佐子 安崎真由美 矢野和代 山口朋子 山田靖子 山戸幸子 大和圭子 山本睦子 山本了子 過足智子 四元洋子 龍忍 渡辺穂子

- 【北海道】1名 【福島県】1名 【宮城県】1名
- 【東京都】4名 【神奈川県】2名 【千葉県】1名
- 【埼玉県】2名 【長野県】1名 【静岡県】1名
- 【愛知県】1名 【三重県】1名 【大阪府】9名
- 【兵庫県】10名 【鳥取県】7名 【島根県】20名
- 【岡山県】10名 【広島県】31名 【山口県】37名
- 【愛媛県】1名 【福岡県】195名 【佐賀県】9名
- 【長崎県】18名 【熊本県】74名 【大分県】31名
- 【宮崎県】11名 【鹿児島県】20名 【沖縄県】1名

計500名(匿名含む)

合計	2,199,005.89円
活動支援金	1,948,589円
のぞみ21カンパ	26,000円
雪だるま3号カンパ	21,000円
東日本支援カンパ	195,000円

- マンスリーサポーターの皆さん
- 相川靖 相羽美香子 石本祥一郎 磯道綾子 一瀬和美 伊藤利恵 稲田照子 井上礼子 岩口香織 上田英子 植田清子 内野千鶴子 有働聡美 延壽富美 大麻卓子 大久保伸子 大久保弘子 大崎知恵 太田昌子 大場満 落石久子 片山富美子 金山涼子 紙森優子 河上雅夫 川崎君子 川崎清美 川尻愛子 木村雅子 倉掛大輔 古賀輝洋 後藤宇企子 財津悠子 斉藤美代子 阪口香奈子 坂口馨子 櫻井美喜子 佐竹早苗 佐藤一江 佐藤進一 佐藤照子 白浜千恵子 首藤展子 高山知佐子 竹田恵子 武田孝子 田中京子 珍部千鳥 土持秀男 由利子 朱加 網脇牧子 坪川裕子 富永隆史 鳥井原桐子 鳥原良子 永江之子 永尾ゆかり 中島まゆみ 永野沙智子 中村洋子 榎崎悦子 西井えりな 西首延子 丹羽道代 納富育代 廣松初美 深川哲臣 福井初子 福本勅子 藤田優子 藤本孝子 洲田三輝 古川恵子 松尾智恵子 松木幸美 松永庸子 丸山さより 水本敬子 三野桂子 村田聡子 村西美由紀 村松知子 室屋芳乃 矢野和代 山下澄子 山中陽子 山本亮輔 吉田美抄子 吉丸隆子 渡邊真志子

(2013年2月1日〜4月31日までに募金をして下さった方ならびに「のぞみ21」雑貨、支援コーヒー・紅茶の購入を通じて活動を支援して下さいました。通信にお名前を紹介することを許可いただいた方のみ掲載しています。)

集記

今号より新たな編集体制となりました。これからも読みやすい紙面づくりを心がけますので、どうぞよろしくお願ひします。ご質問、ご感想などありましたら、とじごとにお寄せください。お待ちしておりますー(み)

皆さまからのメッセージ (一部抜粋)

- チエルノブイリを忘れないことが、東日本大震災・福島第一原発の事故を忘れないことになると思っています。●いつもありがとうございます。●東日本大震災対策はチエルノブイリを知り対応すること。●自分だけが幸せではいけないと思います。ささやかですがお役に立ちますように。●コーヒー、とても良い香りが袋をあける前からしています。感謝です！●商品を購入することで細く細くでもつながっているようで嬉しいです。●未だに続く苦しみ…。チエルノブイリ後の被害を教訓とし、日本でも放射線や内部被曝対策、そして集団移住を実現したいものです。●会報、いつも楽しみにしています。●「チエルノブイリ」を忘れないためにも支援を続けたいと思います。●活動に頭が下がります。私もできる形で参加したいです。●長年にわたる支援活動ご苦労様です。応援しています。●核のない未来を願っています。●日々、元気で過ごせるよう願っています。●子ども達の未来へ！私たち大人のできることを少しずつ思っています。●知っていたのに行動に移さずまま、生活していました。まずは募金から始めます。ずっと行動してこられた皆様に敬意を込めて。●チエルノブイリ、福島を忘れないためにできることの一つ。●ささやかではありますが、現地の方々の笑顔につながりますように。●息の永い活動に敬意を表します。今後も必要なら必要な支援を、活動を、続けて下さい。●コーヒー豆、とてもおいしかったです。おいしいコーヒーをいただきながら少しでも支援できればと思います。●世界中の人々が幸せでありますように。活動ありがとうございます。●忘れたことはありません。●地球にも限界がある。「経済成長」というバカの一つ覚えはやめよう！●少ない金額ですが、続けたいと思っています。